

平成30年度筑波大学茗溪会賞受賞者一覧

【各学類・専門学群等】

No.	所属		氏名	推薦理由
1	人文学	人文学類	しみず ふみあき 清水 郁晶	3、4年次専攻クラス(日本史)の代表としてリーダー・シップを発揮したほか、近現代史ゼミの幹事を務め、20名以上の学生の代表として毎週の授業の司会や実習授業の準備・運営で中心的な役割を果たした。
2			ことう なおき 古藤 直輝	学業熱心な学生で、授業に積極的に取り組み、優れた卒業論文を作成した。部活ではサイクリング部で4年間活躍し、3年次には主務を務めた。子どもたちと触れ合う地域のボランティア活動に熱心に取り組んだ。
3	化学群	比較文化学類	ふるはた つばさ 古畑 翼	1年次よりクラス代表者会議運営の中心となり、その活動を2年次以降も継続した。また、比文プロジェクトなど学類企画活動や茗溪会に関わる活動に積極的に参加し、学類の運営やOBとの連携に極めて大きく貢献した。また、学業成績も優秀であり、本学大学院進学後は教職につき、英語教育に貢献することが期待されている。
4			日本語・ 日本文化学類	おおたけ はるな 大竹 春菜
5	社会国際学群	国際総合学類	うえの たいき 上野 大樹	上野君は平成27年度に国際総合学類クラス代表者会議議長に選出され、クラス連絡会議の召集などを通して学類生と教員との意思疎通や学生生活環境の改善に尽力した。更に、クラ代議長として学類意見箱の新設と運営に重要な役割を果たしている。学類棟サテライト室の環境整備、クラ大のカジュアル化の推進、及びクラ代初の広報誌の作成にも大きく貢献した。また、学外で平成27年9月に行われた大学生観光まちづくりコンテスト2015大阪ステージにおいて筑波国際総合チームの一員として「訪日ビジネスマン向け観光プラン」の立案と発表に関与し、同プランの大阪商工会議所賞受賞に貢献したほか、東日本大震災の被災地への支援活動やトルコにおける環境ボランティア活動にも積極的に参加した。
6			社会学類	おかだ ゆうた 岡田 優太
7	まきおか えり 牧岡 依莉	クラス代表者会議で就職・進学パート長を務め、特に社会学類の重要企画である就活・進学相談会の開催にあたって顕著な活躍をした。		
8	人間学群	教育学類	あらやま みく 荒山 未来	本学生は、児童養護施設における放課後学習支援、障害のある子どもたちの放課後療育を継続して行い、さらにカンボジアの小学校での短期ボランティア等、顕著な社会貢献活動を意欲的に行なった。

9	人間学群	心理学類	ロッシン セシリア アンジェリカ ROSSIN CECILIA ANGELICA	学生間の国際交流に積極的に取り組み、学類生の海外留学推進に貢献した。また、留学生対応の問題を大学執行部に説くことで本学に与えた多大な刺激には刮目すべきものがあり、茗溪会賞候補者として最適である。
10		障害科学類	はら ちさき 原 千咲季	原千咲季氏は、クラス代表を務め、まとめ役として貢献してきた。成績は極めて優秀であり(GPA:3.97)、コミュニケーション能力が高く、皆に好かれている。なお障害のある大学生に対して学習面、生活面等に配慮した丁寧な支援を行ってきた。
11	生命	生物学類	うがわ なおと 宇川 尚登	大学説明会などの学類企画の委員に積極的に応募し、4年間にわたり特に顕著な活躍をした。
12			くわばら ひかる 桑原 ひかる	学業成績も優秀で大学説明会などの学類企画の委員としても顕著な活躍をした。
13	環境学群	生物資源学類	むろまち なおと 室町 直人	GPA(grade point average)が3.92と大変優秀で、米軍子弟教育高大連携プロジェクトではハイスクールの生徒に代謝産物の検出法を英語で解説し、彼らと測定に取り組んだ。
14			ウ アン トック Ngo Anh Thuc	GPAが3.95で優秀な成績を収めながらも課外活動、大学・学群・学類企画活動など様々な活動に積極的に参加した。課外活動としてthermal camera Training seminarのオーガナイザーを勤め、大学・学群・学類企画活動として2018年度の本学で行われた第11回日中韓大学院生フォーラムに学類生資格で参加し、研究成果を発表した。IoT winter training seminarでは講演者として中学生の教育を担当した。また、Tsukuba English model United Nations(TEMUN)に参加し、MoI d ova代表として“Sustainable Development of Food”について発表を行った。また生化学などの研究にも興味を持っており、International INSTITUTION of INTEGRATIVE sleeping medicine で研究補助者として睡眠に冠する研究補助を行った。今後は、大学院進学を目指していて、研究者として活躍してくれるものと期待している。
15		地球学類	いけだ たかし 池田 貴史	医学水泳部で4年間活躍し、各種学生競技大会において上位成績をあげた。またGPA(3.78)、卒業論文の成績はA+と学類内でも最上位の成績を修めており、文武両道を実現している。
16	理工学群	数学類	たかしま れい 高嶋 伶	クラス代表として学友と学類に貢献し、全代会常任委員として全学的にも活躍した。また大学説明会委員として本学の将来へも尽力した。加えて修学面でも優秀な成績を収めており、茗溪会賞候補者として誠に相応しい。
17		物理学類	こぐれ けんじ 小暮 賢二	2年次に全学学類・専門学群代表者会議の教育環境委員会の委員長を、また2年間クラス代表者会議の副座長を務め、学生と大学のために尽力したため。

18	理 工 学 群	化学類	ふじた あつし 藤田 睦	化学類クラス代表者会議議長を務め、化学類学生の生活向上に努め、また全学的にも貢献をした。クラス代表者会議のみならず、化学類の諸行事に関するとりまとめ役などを献身的に勤めた。	
19		応用理工学類	ひがし かずひろ 東 和広	被推薦者は、応用理工学類のクラス代表を務め、クラス代表者会議でも精力的に活動し、学類やクラス連絡会で中心的な役割を果たした。学生や大学に顕著な貢献をした。	
20			いしぐろ ひろき 石黒 裕暉	被推薦者は、新入生オリエンテーションと夏の大学説明会において学類新歓委員長として企画及び学類PR等で積極的に活動した。学生や大学に顕著な貢献をした。	
21		工学システム学類	みなみ ゆい 南 祐衣	工学システム学類クラス代表者会議議長を務め、学生組織のために尽力した。	
22		社会工学類	もろぼし ゆうた 諸星 優太	社会工学類のクラス代表議長として全学および社会工学類全体の学生のために4年間に渡って顕著な貢献を示した。	
23			にし みか 西 美佳	高大連携活動で顕著な実績を示した(2018/8つくばみらい市、2018/7常総市、2018/11筑波大学、2019/2常総市*筑波大学)。また、クラス代表を4年間務めた。	
24		情 報 学 群	情報科学類	こじま ななみ 小島 七海	小島君は、全代会広報委員会の委員長・編集長を3年間つとめ、広報誌Campusの制作を行った他、学類クラス代表をつとめ、「学長と学生との対話集会」で代表の一人として学長に質問する等、顕著な活動をした。
25			情報メディア 創成学類	さえぐさ はるか 三枝 はるか	学類のクラス代表として、各種問題の解決に積極的に取り組んだ。特に、学類施設のクリエイティブメディアラボのオープンスペース化と学生主体運用のための体制作りにおいて中心的役割を果たした点は高く評価できる。
26	おおたお かずき 大峠 和基			先導的研究者体験プログラム2017年度優秀賞受賞、書籍の出版(1件)及び国際会議での招待講演(1件)、国際会議SIGGRAPH Asia 2017(採択率20%)やAugmented Human 2018(採択率25%)での論文採択等の活動により推薦する。	
27	知識情報・ 図書館学類		ししくら もとふみ 宍倉 基文	クラス代表を務める中で2016年の春日エリアクラス代表者会議の知識議長として、クラス連絡会において、春日地区の学生生活の向上のため学生と教職員との橋渡しの役割を率先して担った。また春日ラーニング commons のチューターとして学生の質問や相談に誠意的に対応すると同時に、春日ラーニング commons の運営や企画に積極的に関わった。	
28		いちむら さやか 市村 彩也香	2016年8月7日(日)に行われた「2016年 受験生のための筑波大学説明会」において総責任者として、イベント開催にあたってリーダーシップを発揮した。同年の大学説明会では学類の特徴を最大限に引き出す新企画「知る見る図書館」や、キャンパスツアー、学生生活の様子を納めた映像の上映など意欲的な企画が多く成功裡に終了した。		

29	医学 学 群	医学類	まえじま たくや 前島 拓矢	前島拓矢君は同級生の梅山君と共に5年次より医学教育推進委員会の委員として医学教育カリキュラムの改善に積極的に関わってきた。特に、新臨床・クラークシップ終了時に同級生からアンケートを募り、その結果を医学教育学会等で発表し、他大学学生や教員とも活発な意見交換を行った。
30			うめやましようへい 梅山 翔平	梅山翔平君は同級生の前島君と共に、5年次より医学教育推進委員会の委員として医学教育カリキュラムの改善に積極的に関わってきた。特に、新臨床・クラークシップ終了時に同級生からアンケートを募り、その結果を医学教育学会等で発表し、他大学学生や教員とも活発な意見交換を行った。
31		看護学類	まつざき せな 松崎 汐那	松崎氏は、看護学類の世話人として活動する傍ら、4年次の「看護学の探究演習」において、「大学生の発達障害者への社会的態度に関する研究」をテーマに看護研究を実施した。 発表会にて、看護学類教員及び学生から高い評価を受けた。
—		医療科学類	—	—
32	体育専門学群		やまぎし なつき 山岸 夏希	クラス代表の議長・座長を務め、体育専門学群の学生全体の取りまとめを行うことにより、学生生活の向上に大きく貢献した。
33	芸術専門学群		たかまつ こうき 高松 航希	つくばエキスポセンタープラネタリウムの映像コンテンツを制作し、クラシック奏者の生演奏にあわせた全天周映像を提供した。数百名の来訪者が鑑賞し、好評を博した。課外活動・社会貢献として顕著な活動を行った。
34	理療科教員養成 施設		まつだ えりか 松田えりか	本施設に入学以来、前向きに学修に取り組み、本施設において優秀な成績を収めた。